平成 28 年 11 月 17 日

関係国公立大学長
関係研究機関の長 殿
海外関係研究機関の長

千葉大学大学院園芸学研究科長 小林達明

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は本研究科の教育研究にご支援、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

さて、本研究科では、下記のとおり教員を公募することにいたしましたので、ご高配のほどお願い申し上げます。

敬具

記

1. 公募の対象分野

(1) 職種, 公募人数	大学院園芸学研究科環境園芸学専攻生物資源科学コース 特任助教（テニュアトラック制。任期 5 年。） 1 名
(2) 教育研究領域	栽培・育種学領域
(3) 主要な担当予定授業科目	
博士前期課程	特別研究 I、特別演習 I、園芸植物ゲノム科学（分担）
園芸学部	農場実習 I（分担）、栽培育種学実験（分担）、栽培育種学概論 （分担）、園芸学セミナー（分担）、栽培育種学演習、園芸植 物繁殖学（分担）、卒業研究
普遍科目	情報リテラシー（分担）

2. 応募条件等

- (1) 博士の学位を有すること（又は着任時までに取得見込みであること。）
- (2) 着任予定 平成 29 年 3 月 1 日（必須）
- (3) 当該領域の教育研究領域及び公募により求める担当分野

栽培・育種学領域では、園芸作物に特化し、育種から栽培・利用までの、生産過程全般に関する教育研究内容をカバーし、園芸分野の基礎研究から応用分野において幅広く貢献できる有為な人材の育成を行っています。

本公募では、これまでに園芸作物を主な対象としゲノム科学的手法による研究実績を持ち、着任後も園芸品種の育成等の社会実装を念頭に置いて、果樹、蔬菜もしくは花卉を対象に栽培中に起こる可塑的な変異を含む形態的並びに生理的多様性に関する研究をゲノム科学的手法により積極的に展開する方を求めています。

栽培育種学領域の関連科目や情報リテラシーなどの普遍教育科目を担当できる方を求めています。いくつかの担当科目は英語で実施することになります。また、現在改組に伴い計画中の園芸植物ゲノムワイド研究センター(仮称)の設立とその運営に積極的にかかわっていただくことと、大学のその他の管理運営に対しても積極的に関与していただくことが求められます。

本公募は、文部科学省「平成28年度国立大学改革強化推進補助金補助事業(特定支援型)」によるものであり、国際的な活躍や連携の推進が期待できる若手研究者を求めています。また、女性・外国人の応募を歓迎します。

(4) 平成29年3月31日時点で34歳以下であること

(文部科学省国立大学改革強化推進補助金「特定支援型(優れた若手研究者の採用拡大支援)」事業のため雇用対策法施行規則第1条の3第1項例外事由3号ニに該当)

なお、栽培・育種学領域の教員構成は次のとおりです。

教授6名 准教授2名 講師1名 助教4名 特任助教1名(うち今回の公募対象 特任助教1名)

3. 応募書類(原則として返却しません。)

- (1) 履歴書 2通
- (2) 研究業績目録 2通
- (3) 論文の別刷など学術論文・著書の代表的なもの10編以内(各1通)
- (4) 教育業績調書 2通
- (5) 現在までの教育研究の概要と今後の教育研究上の抱負(2,000字程度) 2通
- (6) 特記事項など(科研費採択実績, その他外部資金取得実績等を記載してください。)
- (7) 応募者の人物像をよく知る方2名のお名前と連絡先を記載してください。

4. 応募期限

平成28年12月26日(月)必着

5. 応募書類の送付先及び問い合わせ先

千葉大学大学院園芸学研究科生物資源科学コース長 三吉一光

〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 番地 電話 047-308-8809

E-mail: miyoshi@chiba-u.jp

(注: 書留による郵送が望ましいが、配達記録が残る宅配便もしくはEMS等も可。封筒の表に「生物資源科学応募書類在中」と朱書きしてください。)

園芸学研究科及び当該領域の概要については、ホームページを参照してください。

(<http://www.h.chiba-u.jp/index.html>)

6. 応募書類の作成要領

- (1) 履歴書 学歴は高校卒業から記入し、外国における留学及び研究は、原則として 6 ヶ月以上滞在の場合を記入してください。
- (2) 研究業績目録
  - 1) 原著論文
    - a) 学会誌や学術誌などでレフリー制度のあるもの
    - b) その他の論文・・・大学の学術報告、研究会誌、試験場報告、シンポジウムなどの掲載論文
  - 2) 著書及び訳書・・・単著と共著を区別し、共著は分担部分を明記してください。
  - 3) 報告書
  - 4) 総説・資料・書評など
  - 5) 普及・実用記事など
  - 6) 学会・研究会・講演会・シンポジウム・セミナーなどでの発表・・・最近 5 年間の発表で、講演要旨集などに掲載された主要なもの 10 編以内（ただし、発表の総数をこの欄の最後に、ほか□□編と記入してください。）
  - 7) 計画・設計
  - 8) 特許など
  - 9) 資格・技術
- (3) 教育業績調書：これまで担当したことのある授業科目、実験指導など（学部、大学院その他）があれば、その一覧（ポスドク時の実験指導も含む。）
- (4) 特記事項など（様式は問いませんが、別紙の A4 用紙に項目別に整理して記入してください。）

履歴書・研究業績目録・教育業績調書については、所定の様式を千葉大学大学院園芸学研究科ホームページ (<http://www.h.chiba-u.jp/index.html>) からダウンロードして作成してください。

7. 勤務形態 任期付き常勤職員

8. 待遇 給与は年俸制とし、本学給与規程（※1）により決定されます。 また、テニユア獲得後も年俸制（※2）が適用されます。

※1 テニユアトラック期間中の給与は以下の規程のとおりです。

国立大学法人千葉大学特定雇用職員給与規程

http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/announce/files/announce/tokuteikoyo_ushokuin_kyuyo.pdf

※2 テニユア獲得後の給与は以下の規程のとおりです。

国立大学法人千葉大学年俸制職員給与規程

http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/announce/files/announce/nenpoushokuin_kyuyo.pdf

なお、初年度にスタートアップ経費として、研究費 450 万円(上限)が予算措置されます。

9. その他

- (1) 来学して面接及びセミナーをしていただく可能性があります。なお、旅費は支給されません。
- (2) 研究業績について、追加の資料提出を求める場合もあります。
- (3) 採用後、テニユア獲得のため、期間中の 3 年目に中間審査、5 年目に本審査が実施されます。

以上